

## 21世紀初頭における環境自動車（グリーン自動車）の開発・普及の方向性

車種	ハイブリッド自動車	LPG自動車	CNG自動車	LNG自動車	DME自動車	燃料電池自動車
小型トラック <sup>(注2)</sup>						
中型トラック <sup>(注3)</sup>						
大型トラック <sup>(注4)</sup>	-	-	-			
路線バス <sup>(注5)</sup>		-				
観光バス <sup>(注6)</sup>	-	-	-			
乗用車				-		
(参考) 普及台数 (平成10年度末保有台数、軽自動車を除く。)	バス：345台 乗用車：2万台	トラック：1万台 乗用車：28万台	トラック：2千台 バス：239台 乗用車：231台 (印：累計)	0台(試作車のみ)	0台(試作車のみ)	0台(試作車のみ)

(注1) 記号の意味は以下のとおり。

- ：普及段階にあり、今後性能改善・普及が期待される自動車
- ：開発段階にあり、今後開発・普及が期待される自動車
- ：適性について結論が出されていないが、開発の必要性を否定できない自動車
- ：一般的に開発が困難と思われる自動車

(注2) 小型トラック：主に集配活動に使用される最大積載量2トン程度のトラック

(注3) 中型トラック：主に集配活動や拠点都市間の輸送に使用される最大積載量4トン程度のトラック

(注4) 大型トラック：主に幹線輸送に使用される最大積載量10トン程度のトラック

(注5) 路線バス：主に市街地を走行する乗合バス

(注6) 観光バス：主に観光地と都市を往復する観光用途に使用されるバス、または、主に高速道路を走行する路線バス